

# がくどうほいくふなばし

No. 8 市連協だより

2002. 1. 25 (金) 発行

船橋市学童保育連絡協議会

(住所) 船橋市西船2-2-21

(Tel/Fax) 047-433-9266

(ホームページ) <http://homepage2.nifty.com/fghrk/>

## 福祉サービス部長との懇談を申し入れる

1月18日、細田会長と山口副会長が、児童家庭課長に、下記の内容の要望書を手渡し、福祉サービス部長との懇談を申し入れました。懇談についてのやり取りは以下の通りです。

課長 「検討はしてみるが、日程が取れないのではないかと。すでに対応していることもあり、文書回答ではだめか」

市連協 「直接懇談することを重視したい。時間は夜がいいが、むずかしければ勤務時間中でもいい。ぜひ検討いただきたい」

課長 「部長と協議して決めたい」

### 率直な意見交換が必要

また要望書の内容について児童家庭課長

は、「4年生以上の入所についての厚生労働省の通達は承知している。ルームの移転については、個別に聞かれれば予定は言えるが、条例の変更が市議会を通らないと保護者に正式に出せない事情がある。法典西小の移転は設置の経緯がありすぐにできないが、校長に会って体育館の借用を了解してもらうなど前進している。入所のしおりで父母会の記述は削除するよう指示している。我々もできることはやっている」と答えました。

これに対して市連協からは、「今は率直な意見交換が必要なとき。お互いに意思疎通の場を多く持つことが重要。話せばいろいろなことがわかる。ぜひ懇談の機会をもってほしい」と強く要望しました。

### 懇談を要望した項目（要旨）

#### (1) 4年生以上の入所問題について

昨年12月に厚生労働省担当課長の通達で出されたように、4年生以上の入所を、市広報に掲載するなど、積極的に取り組んでください。

特に、1月の締め切りで定員に満たないルームは、広報などで、4年生以上を含めた募集をして下さい。

#### (2) 今後の放課後ルームの整備計画を明らかにしてください。

12月補正予算の中味について

来年度設置予定のルームは、年度途中でできるだけ早期に開所してください。ルームの移転や新設について、父母の要望を積極的に取り入れてください。

( 3 ) 法典西小ルームの移転問題と当面の対応について

法典西小の子どもたちが通いやすい場所にルームを設置してください。

早急に移転できない場合は、校舎内に待ち合わせの場所を確保するなど、父母の要望に基づいた対応をして下さい。

( 4 ) 指導員の受験資格について

( 5 ) 入所説明会の配布資料「保護者の方へ」の内容の変更について

「(略)。また市が父母会等を組織したり、夜間に会合を開いたり、休日に行事を開催することはありません」の記述は、昨年2月の福祉サービス部長(当時)との協議内容の通り、削除してください。(懇談を待たずに対応を)

2001年12月20日付 厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課長通達

「本事業の対象となる児童については、(略)放課後児童のおかれている実情を勘案し、小学校に就学している4年生以上の児童も積極的に受け入れるよう配慮されたい」

## ルームの分離で高根台第一父母が要望書を提出

昨年12月、高根台第一放課後ルーム及び高根台第三放課後ルームの分離について、父母の代表が児童家庭課に、1月中に説明会と施設見学会を開催するよう要望書を手渡しました。

また質問として、施設規模と入所定員は、放課後ルームから学校正門等の

安全確保のための外灯設備は、お迎え用の駐車場は、校内(グラウンド等)での遊びは、雨の場合の遊び場は、学校の遊具はどれだけ使えるか トイレの数は確保されているか、経験ある指導員を配置してほしい、引っ越しの予定は、など文書で手渡しました。

### 12月定例会の報告(12月21日)

11/21の県保問協子育てキャラバン(県保問協と保育課長・児童家庭課長との懇談)

11/29の市保問協と市長との懇談(7号に掲載) 補正予算での放課後ルームの移転、等について報告しました。

#### 定員80人の大規模施設設置

12月市議会提案の補正予算で、定員80人の施設の設置を含む、小栗原、習志野第一

若松、葛飾の4つの放課後ルームが学校敷地内へ移転する予算が計上されました。定例会では、大規模施設に移転することについて、1フロアに80人ということ、設計にあたって保育士等の福祉施設の専門家が立ち会っていないこと、トイレの数が他のルームと同じであること、等の不安が出されました。再度市に説明を求めていくことになりました。

1ルームの部屋の定員を、80人にするという今回の大規模施設について、父母の率直な声を反映させ改善していくことが今後求められています。

### 「輝け！...」(2/3)に参加を

2月3日(日)の「輝け！船橋の子どもたち～子育て・教育・市民のつどい～」で、市連協は、「放課後の子どもたち～放課後ルーム(学童保育)で子どもたちは～」というテーマの分科会の世話人を引き受けます。

定例会では、ルームでの子どもたちの様子、

保護者会での保育報告、要望したいこと、知りたいこと、などを聞きたい、などの意見が出されました。各父母会で3人以上の参加を呼びかけることになりました。

### アンケートを実施

各放課後ルームの実態の把握と来年度の要求項目の整理のために、父母会および父母を対象にアンケートを実施することになりました。アンケート項目は、1月の定例会で決めることになりました。

# ほのぼの保育報告

「見てみて

月まで届いているよ！」

冬休み間近になって、子どもたちに凧を作ろうと声をかけました。作るのはビニール凧。まず、作ってみたいという子どもたち数人から凧作りを始めました。

「たこ作ったことあるよ。」という子もいれば、初めてだけどどんなものか興味津々な子も。1年生は、ビニールをはさみで切るのもひと苦労。なかなかうまく切れない・けれど、ゆっくりでも自分の凧は自分で作ります。4年生の男の子が、1年生の子にいていねいに作り方を教えている姿も見られる作業風景。

「たこ作ったことあるよ。」という子もいれば、初めてだけどどんなものか興味津々な子も。1年生は、ビニールをはさみで切るのもひと苦労。なかなかうまく切れない・けれど、ゆっくりでも自分の凧は自分で作ります。4年生の男の子



が、1年生の子にいていねいに作り方を教えている姿も見られる作業風景。

凧に描く絵もみんな様々です。凧一面に「カービィ」がいたり、いろんな絵を細かくいくつも描いていたり。中には、凧だけに「蛸」の絵を描いている子も！

ようやくできあがった凧を、校庭であげることに。「とり年だから・・・」と言ってカラスの絵を描いた2年生の子。あがった自分の凧を見て「カラスが飛んでる！」「カラスがいるから、ハトが近づいてきた」と大はしゃぎ。

とてもよくあがるいくつもの凧を見ながら「凧が月まで届いたよ」と、みんなうれしそう。作っていなかった子もそれを見て、「やっぱり作る！」と。凧人気はこの冬もうしばらく続きそうです。

## 大いに盛り上がった お楽しみ会兼忘年会



行田ジャングル（西海神・行田西合同父母会）では、12月22日にお楽しみ会兼忘年会を開催。

お楽しみ会は、コマ、ベーゴマ、剣玉、手作りメンコのコーナーに分かれて、親子で遊びました。ベーゴマを初めて回すことができた『大人』の続出で大いに盛り上がりました。

## 親子新年お食事会

「新年おめでとう今年も楽しく、よろしく」海神父母会では、親子新年お食事懇親会を1月12日に会費制で行いました。飲んで食べて満腹！満喫の一夜となりました。

## 父母会の動き

### クリスマス会でびゅんびゅんごま

法典放課後ルームのクリスマス会の親の出し物の冒頭はお父さんのびゅんびゅんごまの模範演技でした。10月のがくどうまつりで練習したお父さん。楽しそうに2つのコマを回す笑顔が印象的でした。そのあと、子どもたちも挑戦しました

## 年末にもちつき

海神南父母会では、12月16日、地域のマンション自治会ともちつきをしました。子どもたちも杵を持ちもちをつきました。年の暮れ新しい年を迎えるひと時となりました。

## 古和釜なかよしクラブ、来年度も継続の方向

古和釜なかよしクラブは、共同保育の道を選んで2年。大きな事故があったら「ほら見ろ！」と笑われるところなのですが、のびのびとした保育を受けながらも無事2年が過ぎようとしています。

志賀高原での夏合宿、房総の釣りツアー、お餅つき会など親子で楽しむ行事の他、冬休みには、谷津干潟に野鳥観察にも出かけてきました。市が運営する足かせがない代わりに、財政的に厳しい状況が続く、本年度は47万円を稼ぎ出しま

した。お祭り・バザー・歩行者天国など毎月必ず、事業を行っていました。その時は、OBの人がたくさん手伝いに来てくれ、支えてくれました。保護者の他に、たくさんのOBの人たちの支えの中で運営が成り立ったのです。今でも熱い支援を送って下さる方がいます。

11月の父母会で来年度の方向が話し合わせられ、来年度も存続する方向で話が進められています。（文責 上村）

2月の予定

## 2月3日(日)輝け！船橋の子どもたち

勤労市民センター 分科会「放課後の子どもたち」～放課後ルーム（学童）の子どもたちは...～